

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）報告会
開 催 日 時	令和6年7月10日（水） 午後7時00分 開会・午後7時50分 閉会
開 催 場 所	宮寺・二本木地区センター 1階 大会議室
出席委員(者)氏名	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）委員 古谷圭、野崎皓布、水村由高、川島世利雄、近藤勝美、村杉美和、 服部龍児、濱邊一幸、粕谷喜由、岡崎幸子
欠席委員(者)氏名	吉川清、中村隆、山口達也、中村智洋、羽石未樹、馬場準
説明者の職氏名	総務部公共施設マネジメント推進課長 大石浩士
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 挨拶 3 報告 小学校統合・建替に向けた用地取得の経緯と今後の方向性 (1)学校統合地区検討会議の振り返り (2)公共施設マネジメント事業計画 (3)用地取得に関する報告 (4)今後の方向性 4 質疑応答 5 閉会 公開
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料1 小学校統合・建替に向けた用地取得の経緯と今後の方向性
関係部局職員氏名	教育部長 浅見泰志 教育部次長 佐藤政史 教育部参事兼教育総務課長 新屋朋徳 教育部参事兼学校教育課長 山崎大志 教育部学校統合調整室長 中村正幸 教育部副参事（教職員指導担当） 岡崎公伸

	教育部教育総務課学校統合担当副主幹 川村英二 教育部教育総務課学校統合担当主事 江田早規
事務局職員職氏名	総務部長 平沼宏之 総務部次長 荻野勝弘 総務部公共施設マネジメント推進課長 大石浩士 総務部副参事（公共施設マネジメント担当） 田中崇晃 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 木戸康仁 総務部公共施設マネジメント推進課主査 豊泉航 総務部公共施設マネジメント推進課主任 高野祐未 総務部公共施設マネジメント推進課主事補 森澤祐斗
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 開 会 (午後7:00)

2 挨 拶

3 報 告

小学校統合・建替に向けた用地取得の経緯と今後の方向性

(1)学校統合地区検討会議の振り返り

(2)公共施設マネジメント事業計画

(3)用地取得に関する報告

(4)今後の方向性

4 質疑応答

5 閉 会 (午後7:50)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
	1 開 会
	2 挨 拶 開会に際する挨拶の中で、以下のとおり会議の趣旨を説明した。 ・ 当検討会議は令和２年度末をもって休止とさせていただいていたが、本日は、当時の委員である皆様に用地取得の検討経過を説明させていただくためお集まりいただいた。 ・ 統合・建替場所に関する新しい方向性も定めたため、報告させていただく。
平沼総務部長	3 報 告 資料1に基づき、「小学校統合・建替に向けた用地取得の経緯と今後の方向性」について、以下のとおり説明を行った。
大石公共施設マネジメント推進課長	(1)学校統合地区検討会議の振り返り ・ 市ではかねてより公共施設の適正化を進めており、平成３１年３月に策定した「公共施設マネジメント事業計画」（以下、「公マネ事業計画」という。）に沿って学校の統合に取り組むにあたり、市民とともに検討や意見交換を行うため、令和元年度に当検討会議を設置した。 ・ 当検討会議は、令和元年度から２年度にかけて６回開催した。 ・ 会議においては、「地域性や今後の見通しなどを踏まえると、小学校の統合に向けた取り組みを進めていくことが求められる。」ということについては、委員の共通認識とした上で議論を進めてきた。しかし、検討を進めていく中で、通学上の安全対策に関することなど、具体的な内容については、学校の場所が定まってから話し合う方がより効果的であるという結論に至った。そこで、会議は令和２年度末をもって一旦休止し、市から整備場所が提示できる状況になった段階で再開することとしていた。
	(2)公共施設マネジメント事業計画 ・ 公マネ事業計画において、当地区の小学校においては、第１期(２０１

発 言 者	発 言 内 容
	9～2028年)の間に「児童数の推移と施設の老朽化の状況を踏まえて統合・建替えを行う。」「児童の通学の状況を考慮し、地区の中間付近への移転・建替えを検討する。」「小学校の再整備に併せて学童保育室を校舎に複合化する。」としていた。 ・公マネ事業計画策定当初は、令和3年度を目標に用地交渉を終えることを想定していたが、交渉に時間を要し、令和5年3月時点で2～3年ほどスケジュールに遅れが生じていた。 (3)用地取得に関する報告 ・市では、公マネ事業計画の開始年度である令和元年度から学校整備に係る候補地の検討を開始し、併せて地区検討会議も開催した。 《交渉経緯》 令和3年度 ・候補地を決定し、土地所有者の方々の意向確認を開始した。 ・交渉に向けた条件整理や、代替案などの説明を行った。 令和4年度 ・全ての所有者の方々との意向確認を完了した。 ・交渉内容の諸条件を踏まえ、整備条件などについて市役所内で再検証を行った。 令和5年度 ・候補地の取得方針を決定した。 ・所有者の方々との買取りに係る協議を行う中で、条件面などから、一部所有者の方との交渉継続が困難な状況となった。 ・代替案として、隣接する土地の所有者の方にも意向確認を行ったが、売却の意向がないことを確認した。 ・以上、令和元年度から5年間にわたり「地区の中間付近」での用地取得に向けて検討や交渉などを進めてきたが、学校用地という特性上、条件や制約がある中で代替となり得る土地も限られ、土地所有者の方に売却の意向もないことから、地区の中間付近で学校建設に適した土地を取得できる見通しが立たないことが明らかになり、この度用地取得を断念することとした。 (4)今後の方向性

発 言 者	発 言 内 容
	・現状として、宮寺小学校、狭山小学校ともに施設の老朽化や児童数の減少などへの対策が急務となっているが、学校建設に適した土地を取得できる見通しが立たないこと、併せて「借地の解消を図り、小学校の統合・建替えが可能な土地」、つまり市が所有する公有地であることという条件を満たして早期解決を図るため、この度狭山小学校での統合・建替えを進めることが妥当との判断に至った。 ・これにより、当検討会議の役割は終了となり、本日の報告をもって本会議は閉じることとなる。これまで皆様から頂いたご意見は、市の教育部が中心となって進める「学校統合委員会」に継承して検討していく。今後は、こうした取り組みを踏まえて、新しい学校の整備に向けた具体的な内容を決めていく予定である。 ・今後とも、子どもたちが良好な教育環境で学び続けられるよう、引き続き進めていく。引き続き市の取組みにご協力願う。
委員	4 質疑応答 ・狭山小学校に統合となると、交通問題や、宮寺小学校の子供たちがどう通学するのかが問題になると思う。地域への説明などは。
事務局	・狭山小学校に統合することで、宮寺小学校区の一部児童の通学距離が遠くなってしまうこと、また通学上の安全が大きな課題であることについては、今後、具体的な対策などを検討していく。また、宮寺地区への説明については、まずは検討会議の委員となっていたいただいていた皆様にお伝えしたいと考え、今回の会議を設けさせていただいた。
委員	・狭山小学校を活用して統合・建替えを進めるという情報の取り扱いについて、この情報は私たちも周りにオープンにしてよいのか。
事務局	・市の方針として定めさせていただいたもので、市としてもオープンにする内容であるため差し支えない。
委員	・地域に対して、今後市が説明会を開催する予定はあるか。
事務局	・地域のご要望を踏まえ、検討させていただく。

発 言 者	発 言 内 容
委員	・交通安全対策はどう考えているのか。また、地域住民への周知はどのように行うのか。
事務局	・通学上の安全対策に関して、具体的な提案ができる段階に至っていないが、これまでの検討会議でいただいた様々なご意見や情報は、市役所内で共有をさせていただいている。それらも踏まえて、引き続き地域の方のお力をいただきながら、子どもたちの安全確保に向けた取組みを進めていきたいと考えている。また、地域の方への周知に関しては、本日はまず当初の委員さんにお話しをさせていただくということで、会議を開催させていただいた。今後の検討状況や地域のご要望などを踏まえて、地域の方々への周知方法について、引き続き検討していきたいと考えている。
委員	・当初の計画では、令和何年頃に統合・建替えを行う予定だったのか。
事務局	・当初の計画では、令和１０年度頃を目標に、学校の統合・建替えを行う予定としていた。
委員	・それを受け、現計画では何年頃にずれ込んだのか。
事務局	・ここで方針を定めさせていただいたため、具体的に何年かと申し上げ難い段階ではあるが、令和１３年度から１５年度頃を目標にできればと考えている。
委員	・資料の１４ページにも、「対策を先延ばしにできない」とある。現在発生している事業の遅れについては、一刻でも早く縮める努力を市の方でしていただければと思う。
事務局	・学校の整備に向けたスケジュールについては、これから全庁を挙げてよく検討していきたいと考えている。 質問のほか、数名の委員より以下のとおり意見があった。

発 言 者	発 言 内 容
委員	・ 前回の検討会議から長い期間が経ち、ここでようやくこのような決断がされたということで、土地所有者の意向もあるためこの結論は仕方がないところもあると思う。私たち委員は、地区の中間付近で建替えるという前提のもと、令和元年から１年半にわたり検討会議で議論を行ってきた。これまで行ってきた議論が空論とならないよう、交通や災害の問題、安全、教育に関する意見などは、今後の検討に最大限生かしてほしい。 ・ 跡地利用についても両輪で進めていかないと、宮寺の住民は不安を感じると思う。 ・ 学校の名前や雰囲気など、変わらなくてはいけないことと、守っていかなくてはいけないこと、両方を考えた未来志向の小学校であってほしい。 ・ 宮寺小学校区の子どもたちは通学がすごく大変になると思う。 ・ 将来的に宮寺・二本木地区センターも建替えが行われることを踏まえ、ここで宮寺小学校が無くなり災害拠点が１つ減るということを考えてほしい。 ・ 保護者への説明がしっかりされないと、やはり不満が出るのは宮寺小学校区側だと思う。 ・ 今回のようなことは私たち地区の住民にとってはかなり重要な問題であるため、ぜひ住民一人一人の気持ちや思い、考えに耳を貸していただきながら、行政を進めていただきたい。 ・ 子どもの数が減少しているから学校の統合を進めるということだが、一方で市内に子どもの数を増やすための対策は行っているのだろうか。子どもが遊びやすい、住みやすいまちとすることも考えていただければと思う。 ・ 狭山小学校で建替えることになったという情報については、市の方から積極的に発信してもらいたい。 ・ 学校の耐震性が保てるのであれば、スケジュールの遅れを取り返そうと急ぐより、住民が納得いく形で検討を進めてほしいと思う。 ・ 今回は小学校の問題だが、地区全体を見て、入間市の端を中心にするような考えをもってほしい。宮寺、あるいは二本木地区という形ではなく、新しい名前にすることも考えられるのではないか。

発 言 者	発 言 内 容
浅見教育部長	5 閉 会 会議への参加に対するお礼と今後について、以下のとおり閉会に際する挨拶をした。 ・私も公共施設マネジメント推進課長として、検討会議の設置当初より関わらせていただいております、検討会議の設置前から、地区懇談会を開催し、地域の方のご意見をいただきながら、地区の中間地点に学校を整備するということで計画を立て、事業を進めてきたが、結果として用地の取得ができなかったことについてお詫び申し上げます。 ・学校の整備は、老朽化が進んでいることもあり喫緊の課題である。 ・新しく整備する学校については、本日頂いたご意見を踏まえて、また今後も地域の皆様、あるいは子どもたちのご意見を聞きながら、とにかく子どもたちのために、素敵な学校を作っていきたいと考えている。 ・ぜひ今後とも、市の取り組みにご協力願う。